

■ちーびし

○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績, ⑤
奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■朴 源 (パク ウォン) Won PARK

- ①1964年・韓国
- ②法文学部経済情報学科地域計画講座助教授
- ③財政学
- ④「開発財政をめぐる国と地方」『鹿児島における開発政策と地方財政』(鹿児島県地方自治研究所, 2001年),
「地方消費税: 回顧と展望」『自治研かごしま』No.79
(鹿児島県地方自治研究所, 2003年), 「付加価値税における利子の取扱い」『経済学研究』(九州大学経済学会, 2003年)

■山本一哉 (やまもと かずや)

- ①1966年・鹿児島市
- ②法文学部経済情報学科国際協力講座助教授
- ③国際経済論, アジア経済論
- ④「韓国における銀行再編」鹿児島県地方自治研究所『自治研かごしま』(No.78, 2003. 8)
「沖縄・奄美群島の物流と自立化」『島嶼地帯の県境を越えた市町村合併に関する総合調査－奄美群島を事例にして(平成15年度文部科学省科学研究補助金/基礎研究(B)(2)/研究代表者: 山田誠)』(2004年3月)

■萩野 誠 (はぎの まこと)

- ①1959年・福岡県
- ②法文学部経済情報学科経営情報講座教授
- ③経営情報論
- ④『情報技術と差別化経済』九州大学出版会, 2003年
『鹿児島の経営者にみる成功の法則』南日本出版社, 2003年

○編集後記

■ 去る11月27日（土）、沖永良部島和泊町での第2回公開シンポジウムが行われ、無事終了しました。会場の和泊中学校あかね文化ホールには、130名以上の参加者が詰めかけ、基調講演、研究討論会、シンポジウムに熱心に耳を傾けておられました。また、夜の懇親会ではしま唄や踊りなど、沖永良部島ならではの出し物もあり地元の方々との交流も深めることができました。準備の段階からシンポジウム当日まで、和泊町役場、同教育委員会、そして沖永良部郷土研究会の皆さんに大変なご助力をいただいたことに感謝いたします。

なお、この公開シンポジウムの概要については、次号以降の奄美ニューズレターでご紹介する予定にしております。（平井一臣・事務局長）

■ シンポジウム会場の、和泊中学校あかね文化ホール付近で撮影した花々の写真を表紙に掲載いたしました。沖永良部島に到着した日は気温24度。上着を羽織っていると、汗ばむくらいの陽気でした。花の島と呼ばれるだけあって、島内のあちこちで鮮やかな花が見受けられたことが印象に残っています。（I）

研究責任者 山田 誠

奄美ニューズレター

発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠

AMAMI News Letter

発行日 2005年1月7日